

9 丁 目 の 仲 間

発行元 社会福祉法人東京援護協会 大泉障害者支援ホーム

連絡先 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町9-4-2

電 話 03-3978-5581(代) ホームページ <http://www.tokyoengokyokai.or.jp/13oizumi/>



コロナに負けず元気です!



新型コロナウイルスの感染が世界中に蔓延しています。187 国・地域で 800 万人を超える方が感染し、40 万人以上の方が亡くられるという大変な事態になっています。日本国内でも感染する方が多く、49 日間にわたって非常事態宣言が発令され外出や、人との接触を防ぐよう求められました。施設では、多くの行事や日常活動も中止や、延期するなどこれまでにない事態にあります。楽しみにされていた利用者の皆様にとっては大変残念な結果となってしまいましたが、感染を防止する事に

ご協力をいただきました。まだまだ予断を許さない状況にあります。

これからも、3密（密接、密集、密閉）を回避し、感染を防ぎながら徐々に新しい生活スタイルを送れるよう、利用者の皆様とともに頑張っていきたいと思っています。

施設の建替えについては、順調に進んでいます。現在は一部を仮設の建物で運営をしています。桜の木をはじめに多くの樹木や、建物が壊されていくのを見ると、少々寂しい感じがしますが、新しい建物や新たな運営を思い描いて胸を膨らませているところです。完成までまだ時間を要しますが、事故のないように進めてまいります。

大泉障害者支援ホーム 施設長 高橋 廣

通所 入所式

今年度は、3 名の新たな仲間を迎え入れました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策を求められる中ではありましたが、4 月 1 日（水）に令和 2 年度入所式を開催いたしました。来賓及び、保護者の方には心苦しくも参列をお断りし、座席も一定の間隔をあげ、入室前のアルコール消毒やマスクの着用厳守をして行いました。短時間の開催ではありましたが、先輩利用者からの温かい歓迎もあり、心温まる入所式となりました。昨年度 2 月と 3 月にも、それぞれ 1 名ずつ新規通所者が加わり、通所利用者総勢 19 名となりました。

就労支援係 中島 美子



通所

仮設通所棟での作業を開始しました！

引っ越しも無事終わり、ついに5月11日（月）より仮設通所棟での作業を開始しました。施設に出入りする門が今までの真裏になりましたが、事前の見学会や、初日の朝は職員が早めに出勤をして通勤を見守ることで、皆さん混乱なく元気に通所されています。新型コロナウイルスの影響で、通所を自粛される利用者の方々も多くいらっしゃいましたが、5月26日の緊急事態宣言解除後は通所を再開される利用者の方々も増えました。今後も感染予防対策を念頭に置き、環境を整えながら作業を行ってまいります。 就労支援係 中島美子



休憩室



第1作業室



第2作業室



入所

第二多目的室での生産活動を開始しました！

約1か月近く、新型コロナウイルスのため、お休みをしていた生産活動班もついに5月18日（月）より第二多目的室で生産活動を再開しました。ご利用者15名からも「待ちにまったよ！」「仕事がやりたくてうずうずしていたよ！」と再開を喜ばれました。新しい作業場は森林の中にあり森林セラピーを感じられます。リラックスした環境でタオル折りをを行い、ゆったりとした時間が流れています。生産活動時間も9時30分から11時までと短くなりましたが、以前よりも集中して生産活動に取り組まれております。月曜日から木曜日まで生産活動を行い、金曜日はハッピータイムで楽しんでいただいております。 生活支援係 當山 洋



日中活動を仮設棟第二多目的室で始めています！

創作活動班は水曜日の午後のリラクゼーションと、金曜日の午後の音楽療法で仮設棟第二多目的室を利用しています。今までより場所が狭くなってしまったため、リラクゼーションはメドマー（フットマッサージ）を中心に、音楽療法はA Bグループに分かれて実施しています。最初は戸惑いもありましたが、新しいスタイルにも徐々に慣れ、皆さん楽しんで参加して下さっています。 生活支援係 久留ちひろ



工事の様子

今までありがとう管理棟！



令和2年3月きれいに咲く桜



令和2年6月10日現在

しばらく宜しくね仮設棟！



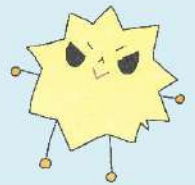
仮設管理棟外観



仮設通所棟外観

仮設棟の玄関は
今までの正門の
反対側、裏口付近
になります。バス
停から少し遠くな
りますが、よろし
くお願いします。

医務より



感染症対策について

「感染症」と一言と言っても色々な病気が挙げられます。風邪やインフルエンザ、ノロウイルス等も感染症の1つですが、他にも多くの感染症があります。

多くの感染症には、予防接種や内服薬、点滴等治療薬がありますが、現在世界中を巻き込んで多くの感染者を出している「新型コロナウイルス」にはまだ確立された治療薬がありません。ですから「感染しない・させない」と言うことが大きな課題であると思います。

当施設に入所されている利用者様は、色々な障害を持った方々が入所されています。障害特性から施設内でのマスク着用や隔離することが大変難しい為、職員の方でマスク着用を義務付け、一つの作業が終わったら手洗い、手指消毒を徹底しています。また、手すりや電話の持ち手等、不特定多数の方が触る場所は、こまめに消毒し「3密」を防ぎ、定期的な換気に努めています。

利用者様の感染症対策としては、日ごろから手洗いを徹底していただき、週1回の訪問歯科で口腔ケアを行なっていただいています。

一人も感染者を出さないよう、職員一丸となって日々奮闘しています。

看護師 津島知賀子





4月から、生活支援係係長を拝任しました太田哲雄と申します。

若輩者ではありますが、利用者さんの思いを大切にしながら、職員が連携して多様な支援を心掛けていきたいと思っております。

そして大泉障害者支援ホームは、職員も施設も思いやりで溢れていると言われるよう、利用者さんの状況を把握している職員と情報を共有してサービス向上に努めていきたいと考えています。

今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。生活支援係係長 太田哲雄



今年度より主任として、施設運営に携わる事となりました。

これからは支援員をサポートし支援の充実を図ると共に、来年度の新設に向けて利用者さんの安心安全、やりがいや生きがいを持っていただけるような施設を目指して参ります。これからもよろしくお願い致します。

生活支援係主任 大津律子



昨年当施設でお世話になっており、今年の4月から、常勤として働くことになりました。まだまだ、わからない事、出来ない事が多いですが、少しずつ覚えチームの一員になりたいと思っております。よろしくお願い致します。

生活支援係 野口暁子



今年の1月から当施設でお世話になっております。この度4月1日付で正職員として採用されました。気持ちを新たにして今後も頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

生活支援係 渋谷あゆみ



4月付で採用になりました小関萌望香です。入社してから2ヶ月が経ち、生活支援員としての仕事に非常にやりがいを感じています。これからもより良い支援ができるよう精一杯勉強していきます。

生活支援係 小関萌望香



5月から生活支援係で働かせていただくことになった板橋来実（いたばしくるみ）です。利用者の皆さんが、笑顔で楽しい生活が送れるようなサポートができるよう、頑張っていきたいと思っております。たくさんご迷惑をお掛けしてしまうこともあると思っておりますが、早く一人前になれるよう努力していきます。よろしくお願い致します。

生活支援係 板橋来実

編集後記

今後も、大泉障害者支援ホームに関する情報を提供してまいりますので、ご意見、ご感想がございましたら、ホームまでご連絡ください。次回の「9丁目の仲間」は10月発行予定です。また、今回写真掲載するにあたり利用者とボランティアさんからの同意を得ています。

広報誌担当 當山、大野、藤井